

## 1. 基本精神・学校教育目標

私たちは、『地域の期待に応え、地域から信頼される学園』として、新しい時代に、『志と誇りを持って、いきいきと生きる人間』を育成します。

## 2. 学校像

礼節を重んずる進学校

- ◇学力を伸長する
- ◇豊かな人間性を育成する

## 4. 運営目標・評価項目・達成状況

運営目標	短期運営目標	本年度実行計画	評価指標	前年度	本年度		評価	運営目標の達成状況
				実績値	目標値	実績値		
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>高い学力の育成</li> <li>学力向上に向けた組織的・計画的な指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の研修や教科会議(週1回)、授業研究(年3回以上)等を定期的実施することを通して、課題発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを重視した授業を推進するとともに、授業はもとより全ての教育活動(学校行事、部活動など)において、アクティブラーニングの推進を自覚的に行う。</li> <li>「教室のグランドルール」を実践し、中学校で策定してある「生徒につけるべき力」を育成する。</li> <li>わからない箇所はその日のうちに理解させることを毎日の目標とする。授業の充実や、単元ごとの補充授業・個別指導を徹底する。</li> <li>3点固定の日常的な取り組みや授業規律の確立、基礎基本の徹底学習、学習方法の習得などを通じて学力の向上を図るとともに、学びに向かう姿勢を確立し、自学自習の態度を養い、自主的な家庭学習を充実させる。</li> </ul>	学習指導に関するアンケート	97%	97%	96%	4	校内研究授業を国語・数学・英語で実施した。中学会で国語・数学・英語を中心に学力向上について検討し、学習における方針・効果を確認しながら日々の授業を展開した。また、各教科で実践した取り組みを教科横断的に共有し、新たな実践につなげるよう心がけた。教科横断的な総合学力を測るものとして進研学力推移調査を導入し、その結果も中学会で検討、共有した。昨年度から実施した本校教育活動に関するアンケート調査(以降、アンケート調査)で、「授業で興味をひき、理解しやすいように工夫している先生」の項目では96%、「学力がつくよう熱心に指導してくれる先生」の項目では96%が肯定的に評価しており、学力向上の取り組みに対する高い評価を得ることができた。中高6年間を通した指導の確立を目指し、生徒の進路実現のために高等学校との連携強化を継続していく。
		実施状況	97%	97%	93%	4	各学年少人数を生かし、一人一人を丁寧に指導する授業を進めるとともに、数学と英語を中心に習熟度別授業・TT授業を行った。また、早朝や放課後に個別の補充授業を数学・英語において実施し、伸び悩んでいる生徒の指導にあたった。朝のSHRの時間には英語検定対策、漢字検定対策、スタディサプリを活用した課題配信を継続するなど、個に応じた指導を行い、学力向上を図った。アンケート調査での、「担任の先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる」の項目では93%の承認を得ることができ、学力向上に向けて組織的・計画的な指導ができていたことが高い評価につながった。	
		模擬試験偏差値	進研学力推移調査平均偏差値51以上41% 全国総合学力調査Lv3が62%	進研学力推移調査平均偏差値51以上45% 到達度テスト平均到達度80%以上	進研学力推移調査平均偏差値51以上42% 到達度テスト平均到達度78%(数学)	4	新型コロナウイルス感染症対策による休校措置等は実施せず、授業時数と学習の進捗を確保することができた。進研学力推移調査では3年次偏差値51以上の生徒の割合が42%で、前年度とほぼ同じであった。調査実施後は、到達度が低かった問題を重点的に復習し、日々の学び方や学習習慣・生活習慣について改善を加える指導を行った。また、全国総合学力調査に代えて導入した1・2年のスタディサプリ到達度テストでは、特に数学での活用を図り、平均到達度78%であった。今後も大学入学共通テストを見据え、基礎学力と思考・表現力のバランスを考えながら、各教科や中学会などで指導法等を検討し、教育実践を進める。	
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「7つの習慣」による豊かな人間性の育成</li> <li>社会で力を発揮する役立つ人間力の育成</li> <li>感動ある豊かな体験活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色あるリーダーシップ教育の一環として「7つの習慣」を継続実施し、日常の教育活動の様々な場面において「7つの習慣」の活用を図る。自分固有の目標をつくり実践する。挨拶、礼節等を基本においた心の育成を推進する。</li> <li>これまでの中学校独自行事に検討を加え、3年生を中心にリーダーシップの発揮を促し、企画・準備・運営を行う。また、ええじゃん、音楽コンクールでの協働での表現力を養うことや自己表現の場面での経験を積ませることで社会で力を発揮する生徒を育成する。All English授業(TEIE)を基盤にし、コミュニケーション能力を養い、国際交流に積極的に参加し将来世界に羽ばたく生徒を育成する。</li> <li>文化祭、体育祭等の学校行事、その他伝統文化に触れる教育活動などを通して知・徳・体・美のバランスのとれた教育活動を行い、豊かな心を育成させる体験等を充実させる。STEAM教室をICT機器を使った授業や探究活動などの多岐にわたる学習活動で利用し、教科横断的に学ぶ力を養う。</li> <li>読書で年間30冊以上読み、言語活動の充実を図る。</li> </ul>	特色教育に関するアンケート	93%	93%	97%	5	7つの習慣の授業で設定したチャレンジへの継続的な取り組みを行うため、各自のチャレンジを常に見えぬ場に掲示した。チャレンジカップへの全員参加と、チャレンジ内容の質を向上させるために、クラス内での発表会を実施した。生徒が日々チャレンジに向かうために学校全体の雰囲気醸成を次年度も継続する必要がある。主体性の発揮やチャレンジへの行動力は本校の生徒につけるべき力となっている。
		学校行事に関するアンケート	79%	85%	87%	5	中学全学年でAll Englishによる授業(TEIE)を実施した。TEIEの実践も3年目になり、生徒も授業スタイルに慣れて積極的に参加しており、英語を聞き、話す経験を重ねることで会話力の向上に繋がっている。TEIEは本校の特色教育の一つとして定着している。中学3年生を中心とする英語スピーチコンテストを実施し、3年間の学びの成果を在校生に披露した。1年生や2年生には和訳なしで理解する力がついている。また、TEIEの実践が、英語検定の取得率の向上や、留学に関心を持ち希望する生徒の増加などにもつながっている。	
		特色教育に関するアンケート	82%	85%	96%	4	尾道みなど祭りの「ええじゃんSANSAN・がり」コンテストは、動画撮影を行い作品を応募した。合唱コンクールは3年ぶりに開催され「優秀賞」を受賞し、生徒が主体で考え作り上げた踊りや各パートリーダーを中心に放課後練習などを行う姿勢は「尾中”らしさ(スタイル)を築きあげる伝統的活動になりつつある。それは、全校生徒(合唱の本番以外でも)が参加すること、高学年が主体的に計画し活動することを通して、自己および仲間へのリーダーシップを成長させ、表現するの有意義な場であった。教育活動に関するアンケート調査で、「文化祭や体育祭などの学校行事が活発で、協力し合う大切さなど学ぶことが多い」の項目では96%の生徒が肯定的に評価している。読書アンケート調査では平均年間30冊以上本を読んでいる生徒が半分以下となり、読書離れが進んでいる。タブレット等のICT機器の活用とともに、読書習慣の定着に向けた手立てを検討していく。	
学校体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼される学校づくり</li> <li>生徒募集の拡大</li> <li>学校組織の機能化及び人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「萌芽」「学級通信」を継続発行して保護者と連携を図る。「スタディライフ」、「フォーサイト」を積極的に活用して個々の目標にしっかりと取り組むことで、学級目標、学校目標を達成する。</li> <li>行事等があった時などはHP等をすぐに更新するなど、家庭、地域に本校の教育内容・存在感を広くアピールする。</li> <li>日常的に全教員が自覚的に、本校教育の特色や生徒の成長の様子など魅力と強みを周知・発信することで、教育方針・内容に共感し目的意識を持った新入生を2クラス確保する。</li> </ul>	授業参観等参加率	67%	75%	78%	5	全校および学年別に授業参観を3回実施し、本校の特色教育(7つの習慣)、お茶、筆、TEIE)の発表を学年別に行うとともに、一般にも案内して授業公開を行った。土曜日だけでなく、平日の授業参観にも多くの保護者が参加し、学校への関心と期待の高さがうかがえた。学年通信を、学期ごとに発行するとともに、月に1回以上は学級通信をCiasstを用いてデジタル配信した。日ごろの教育活動、学校の様子を保護者に知ってもらうことで、担任や教科担当教員と保護者の連携がとりやすい環境をつくることできた。
		実施状況	100%	100%	100%	5	体育祭は非公開ではあったが、感染対策に沿った競技変更をし、3年ぶりに実施することができた。同じく非公開の文化祭であったが、昨年度より規模を拡大して、各クラスが企画を実現できた。修学旅行は行先を東京から長崎に変更し、2泊3日で実施することができ、その様子は学校ホームページ、Facebook等で発信をした。「7つの習慣」の授業については、各家庭に対し7通信(Classi利用)で毎時間の内容と生徒の感想を伝えることができた。	
		入学者数	36名	50名	36名	2	令和5年度入学試験は受験者数49名、入学者数は36名であった。令和4年度は受験者数45名、入学者数36名であったため、前年比受験者数は増、入学者数は横ばいであった。公開授業や公開模試を実施するなど広報・募集部と連携して具体的な授業の取り組みと成果を小学校や塾、地域に発信・アピールした。今後も在校生の学力伸長や教育活動の充実等で成果を上げ、受験者、入学者の増加につなげていきたい。	

## 3. 運営理念

- 輝く 生涯にわたって生きて働く力をつける
  - 人格の陶冶 □高い志と誇り □自立・自己成長・社会貢献
- ↑ 極める 探究し 特性を発揮する
  - 学力の伸長 □豊かな情操と強固な意志 □健やかな身体・運動能力
- ↑ 徹する 集中し 磨く
  - 知・徳・体のバランスのとれた教育 □基礎基本の徹底 □自律・礼節

評価基準: 目標に対する達成率で次のように評価する。  
5:100%以上 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満

